

医師国家試験 問題・解説集 訂正プリント

上記の問題・解説集において誤った表記がございました。お詫びして、訂正いたします。

● 112回

肝胆膵：p.11 解説・問1 (112A-50) 選択肢 b

誤	～急性 B 型肝炎の診断には HBs 抗原は IgM 型 HBc 抗体、HBV-DNA が用いられる。～
正	～急性 B 型肝炎の診断には HBs 抗原や IgM 型 HBc 抗体、HBV-DNA が用いられる。～

小児科：p.19 解説・問13 (112C-41) 選択肢 c

誤	～8 か月ころに消失するため、10 か月の～
正	～6～7 か月ころに出現し2歳ころに消失するため、10 か月の～

● 111回

神経：p.14 解説・問8 (111C-21) 2行目

誤	～患者の歩行姿勢の図において左下肢が内反尖足～
正	～患者の歩行姿勢の図において右下肢が内反尖足～

免疫：p.14 解説・問15 (111I-54) 選択肢 d

誤	～抗ガングリオシド抗体は Goodpasture 症候群で認められる～
正	～抗ガングリオシド抗体は <u>Guillain-Barré</u> 症候群で認められる～

血液：p.14 解説・問18 (111I-56) 6行目

誤	～EV ウイルスの先行感染も矛盾しない。
正	～EB ウイルスの先行感染も矛盾しない。

● 110回

循環器：p.18 解説・問10 (110D-19) 選択肢 a、b、e

誤	a 正しい。代償による心収縮力の増強により、大動脈弁領域の収縮早期雑音を聴取する。 b 正しい。循環血液量の増大により、大動脈弁領域の収縮早期雑音を聴取する。 e 正しい。β感受性の亢進により心収縮力の増強をきたし、大動脈弁領域の収縮早期雑音を聴取する。
正	a 正しい。代償による心収縮力の増強で一回心拍出量が増加し、 <u>相対的肺動脈弁狭窄をきたす</u> 。 b 正しい。循環血液量の増大により <u>相対的肺動脈弁狭窄をきたす</u> 。 e 正しい。β感受性の亢進による心収縮力の増強で一回心拍出量が増加し、 <u>相対的肺動脈弁狭窄をきたす</u> 。

腎：p.4 問題・問4 (110A-43) 6行目

誤	～超音波検査で腎の萎縮と水腎症とを認めない。
正	～超音波検査で腎の萎縮と水腎症とを認めない。

腎：p.10 解説・問4 (110A-43) 1行目

誤	～超音波検査で腎の萎縮と水腎症とを認めない。
正	～超音波検査で腎の萎縮と水腎症とを認めない。

● 109 回

内分泌代謝：p.17 解説・問 15 (109D-19) 選択肢 b

誤	～甲状腺髄様癌はカルシトニンを産生し、血清 Ca 値と血清 P 値とをいずれも低下させる。
正	～甲状腺髄様癌はカルシトニンを産生するが、血清 Ca や P の変動は認めないことが多い。

救急・中毒：p.15 解説・問 12 (109F-30) 選択肢 b

誤	～アドレナリンは、輸液に無反応性の場合に投与する。
正	～初期輸液に反応しない敗血症性ショックに対しては、ノルアドレナリンが第一選択となる。

循環器：p.27 解説・問 24 (109G-64) 6～7 行目

誤	～右第 2 弓の突出は右房拡大を表す。～
正	～右第 2 弓の二重陰影は左房拡大を表す。～

呼吸器：p.23 解説・問 25 (109I-30) 選択肢 d

誤	～Gram 染色では陽性球菌が観察される。
正	～マイコプラズマは細胞壁を欠いており、Gram 染色ではみることができない。

泌尿器科：p.8 解説・問 10 (109H-6) 選択肢 c

誤	～前立腺肥大症では乏尿または無尿を認める。
正	～前立腺肥大症では尿閉を認める。

公衆衛生：p.20 問題・問 54 (109G-30) 設問文

誤	～ 2 つ選べ。
正	～ 2 つ選べ。(編註：現在の正答は 3 つと考えられる。)

公衆衛生：p.35 解説・問 54 (109G-30)

誤	54. (109G-30) 解答：a,c 診断後直ちに届け出るべき疾患について問う。すなわち、1～4 類感染症と新型インフルエンザ等感染症である。 a 正しい。2 類感染症である。 b・d・e 5 類感染症の全数把握疾患であり 7 日以内に届け出る。 c 正しい。3 類感染症である。
正	54. (109G-30) 解答：a,b,c (当時は a,c) 診断後直ちに届け出るべき疾患について問う。すなわち、1～4 類感染症と新型インフルエンザ等感染症である。 a 正しい。2 類感染症である。 b 正しい。平成 27 年 5 月 21 日より、麻疹も直ちに届け出なければならなくなった。 c 正しい。3 類感染症である。 d・e 5 類感染症の全数把握疾患であり 7 日以内に届け出る。

公衆衛生：p.39 解答・問 54 (109G-30) 解答欄

誤	a,c
正	a,b,c (当時は a,c)

● 108 回

整形外科：p.9 解説・問6（108D-54） 3～4行目

誤	～上腕骨外顆骨折と肘関節脱臼を認める。以上より、上腕骨顆上骨折の診断である。
正	～上腕骨外側顆骨折と肘関節脱臼を認める。 ※「以上より」以下も削除

循環器：p.24 解説・問20（108G-55） 選択肢 d

誤	～、Ca ブロッカーのいずれかを第一選択とし、サイアザイド系利尿薬は第二選択である。
正	～、Ca ブロッカー、少量のサイアザイド系利尿薬を第一選択とする。

公衆衛生：p.31 解説・問32（108E-8） 選択肢 e

誤	e 正しい。ちなみに1,000人以上の事業所では選任が義務付けられている。
正	e 正しい。ちなみに1,000人以上の事業所では専任が義務付けられている。

● 107 回

肝胆膵：p.10 解説・問7（107D-35） 選択肢 b および e

誤	b 正しい。胃管留置により胃内容を吸引し、膵液の分泌を抑える。 e 内視鏡的逆行性膵管造影は禁忌。
正	b 正しい。急性膵炎治療において胃管留置は必須の処置ではないが、嘔気が強い場合などに留置されることもある。本症例では特に吐き気の訴えなどはないため、必ずしも必要ではないが、他の選択肢に比べて妥当な処置であるため正解とする。 e 内視鏡的逆行性膵管造影は禁忌。実に8.3%もの受験生が選択している（ゆえに実際に禁忌判定されたかは不明）。

循環器：p.26 解説・問8（107C-21） 3行目

誤	～左心不全もある。Forrester 分類ではIV群である。心電図で心房細動～
正	～左心不全もある。心電図で心房細動～ ※「Forrester 分類ではIV群である。」を削除